

(一) 號六五百四第一 (日曜木) き わ い 新 日一月十年六和昭 (刊日) 一九三六年五月三日

きわい 新

不景氣々々々と何れも青息吐息の世の中にこれはまたなんと景氣の好い話。平町次さんは今朝買出しのため汽車に乗り遅れて待合室にショーンボリしてゐると足下に紙幣様の物があるので拾ひ上げて見ると之はしたり手の切れるやうな百圓札十枚夢かとばかり驚いて平圓は飯野村大字南白土の請負師直井藤太郎氏が落したものと判り謝禮金五十兩を贈られてホクホクし乍ら引下つたとは近頃美しい話ではある

十六錢 錢買駒二 廿四掛見	園と云ふ は座芥吳 策宿屋業永山しゆん方から 都會地に去月中貴金属を窃取した外 も必要な郡下各地に亘つて卅餘件の で季節々堕落した 問はぬ樂 も唄ふ老 歌農村大字關の内と町二三 と判明平署で極力捜査中の ところ何時のまにか隣縣へ	千六錢 錢買駒二 廿四掛見	牛飲馬食狂踊亂舞に痴態のツ するところ起にまた梅だ櫻 だ躊躇だと云ふ花盛りには 他人の前も子供の前もなく お巡りさん聽えて來い する所なんだ嘘だと思ふな に其の狂態振りを質物教授 限りを野天にさらけ出し大
石城荒し捕はる	平町近在で卅餘軒を襲ひ 廿八日茨城縣湊署の手に	石城荒し捕はる	平町近在で卅餘軒を襲ひ 廿八日茨城縣湊署の手に
石城荒し捕はる	小名濱字中野神町料理屋 高飛びし廿八日夜茨城縣湊 署に逮捕されたので平署が 半暴刑暴出張身柄を引取 つて来て目下嚴重取調べ由 であるが同人は茨城縣下で も既に五十餘件を荒し廻つた といふ稀代の窃盜犯人である	石城荒し捕はる	平町近在で卅餘軒を襲ひ 廿八日茨城縣湊署の手に
石城荒し捕はる	下郡城石西洋料理店 票投氣人 ビサス 調理 設備 店内	石城荒し捕はる	下郡城石西洋料理店 票投氣人 ビサス 調理 設備 店内
石城荒し捕はる	園と云ふ は座芥吳 策宿屋業永山しゆん方から 都會地に去月中貴金属を窃取した外 も必要な郡下各地に亘つて卅餘件の で季節々堕落した 問はぬ樂 も唄ふ老 歌農村大字關の内と町二三 と判明平署で極力捜査中の ところ何時のまにか隣縣へ	石城荒し捕はる	下郡城石西洋料理店 票投氣人 ビサス 調理 設備 店内

